

令和元年度 生涯学習振興・社会教育関係職員等研修 基礎研修（演習）

生涯学習振興・社会教育 関係職員の役割等

【演習のねらい】

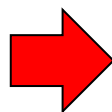
事業・講座（学習プログラム）の企画分析の視点を学ぶことを通して、これからの生涯学習振興・社会教育関係職員等に求められる役割を理解する。

この研修で大切にしたいこと

- **自分を見つめ直し**, **振り返り**しましょう。
- **相手から聞き出す力**を育て合いましょう。
- **広い視野**と**当事者意識**を持ちましょう。
- **意見や考えの違いを乗り越え**, **他者と協働**しながら, **課題解決**に取り組みましょう。
- **学んだことを仕事に生かす意識**を持って参加しましょう。

事業・講座の企画

準備活動



学習目標設定

P 計画

D 実施

C 事業の評価

A 改善・次回計画

- ・地域の現状や特性
- ・学習環境
- ・学習ニーズ

必要課題

(社会の要請)

要求課題

(個人の要望)

企画分析の視点①

視点1



必要課題

(社会の要請)

● 地域的な課題

人口減少・少子高齢化, 地域活性 (まちづくり), 健康・福祉, 絆づくり, 家庭・地域の教育力向上, 防災・減災, 防犯, 伝統文化継承, 生活環境の改善, 地域の担い手 (ボランティア) 育成...

● 現代的な課題

科学技術の高度化, 情報化, グローバル化, 人権, 環境問題, 消費者問題, 男女共同参画, 医療, 福祉, 子供の体験不足, 貧困...

要求課題

(個人の要望)

● 教養

(英会話, 読書, 地域の歴史, 自然観察...)

● 趣味

(茶道, 俳句, 将棋, 音楽, 美術, カメラ, パソコン...)

● 健康・スポーツ・レクリエーション

(ハイキング, 自然体験, 親子キャンプ...)

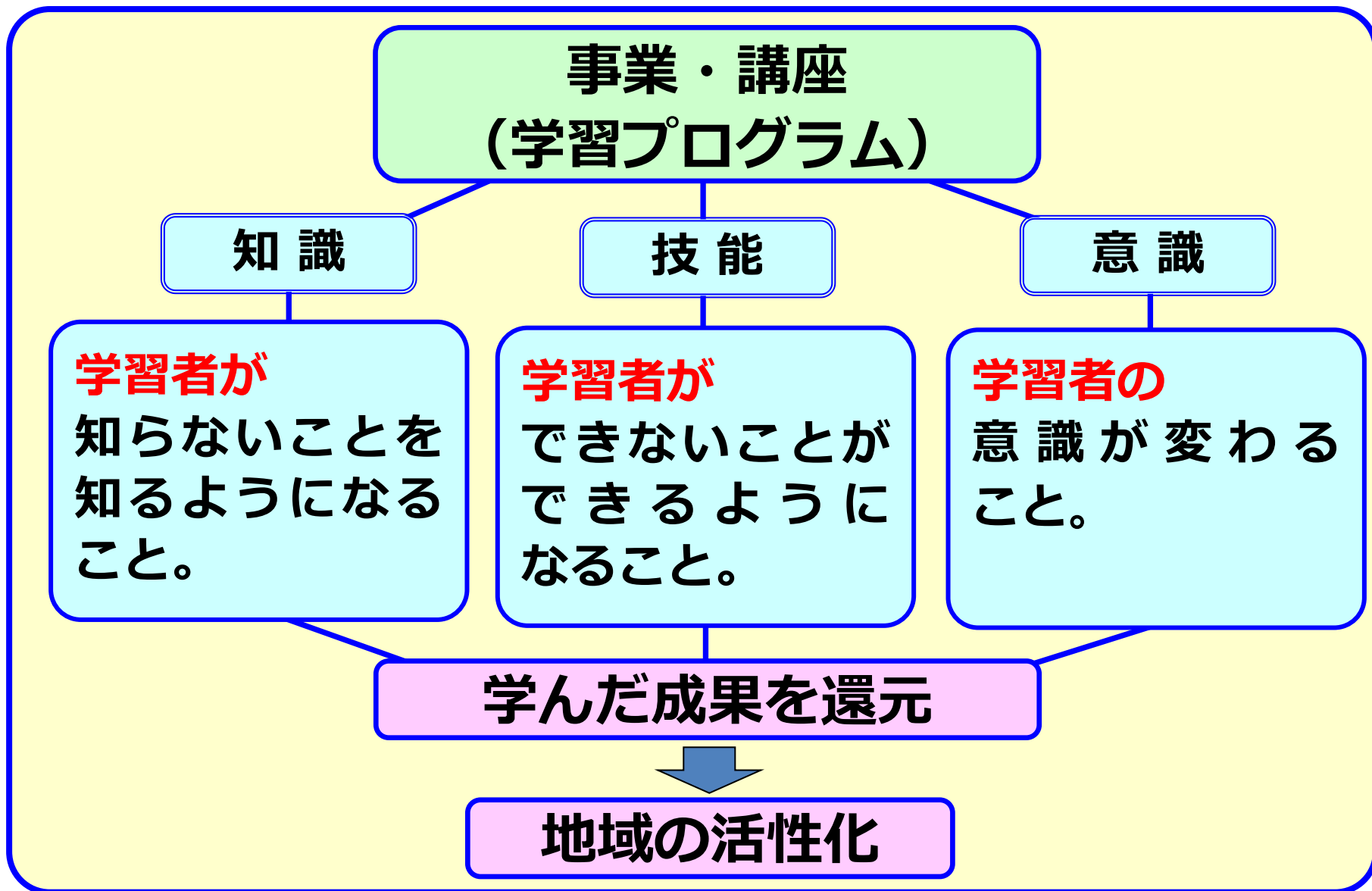
● 家庭教育・生活

(子育て, 介護, 料理, 読書, 生きがい...)

事業・講座
(学習プログラム)

企画分析の視点②

視点2



企画分析の視点①【参考例】

視点1



必要課題
(社会の要請)

- ・ 父親の子育て参加
- ・ 家庭の教育力の向上
- ・ 子供の体験不足

要求課題
(個人の要望)

- ・ 子育てに協力したい。
- ・ 同世代の子育て仲間がほしい。
- ・ 子供と一緒にいろいろなことを体験したい。
- ・ 子育ての悩みを相談したい。

気軽に
参加できそう！

事業・講座

楽しく子育て「イクメン講座」

企画分析の視点②【参考例】

事業・講座

楽しく子育て「イクメン講座」

☆この事業・講座を受けることによって、期待される効果（知識・技能の習得、意識の変容）等がありますか。

- ・【知識】 子供と一緒にできる自然体験や読み聞かせについて知る。
- ・【技能】 子供の気持ちに共感した具体的な言葉かけや対応ができるようになる。
- ・【意識】 父親として自分なりにできることを考えるようになる。
- ・【意識】 子育て仲間と交流することで、子育てが楽しいと思えるようになる。

視点2



☆この事業・講座をさらに充実させるために、改善できそうなところがありますか。

- ・より参加しやすいように回数や活動場所、内容の見直し。
- ・より多くの方に参加してもらえるようにSNSの活用やチラシのなど「広報」の工夫。
- ・「イクメン講座」参加者による、イベントへの参加。

企画分析【個人・グループ演習】

企画分析に挑戦してみましよう！

- ①企画分析シートの紹介，各グループで1つ選ぶ【10分】
- ②個人ワーク：ワークシートの作成【5分】
- ③グループワーク：グループで交流し，ワークシートを作成【30分】
- ④グループ発表・講評【25分】

企画分析【個人・グループ演習】

企画分析に挑戦してみましよう！

①シートの紹介, 1つ選ぶ	15:10	~	15:20
②個人ワーク	15:20	~	15:25
③グループワーク	15:25	~	15:55
④グループ発表・講評	15:55	~	16:20

まとめ

視点1



「必要課題」と「要求課題」のバランス

視点2



生活地域や対象（年代・職業等）を考慮し、
地域住民に身に付けてもらいたい
「知識」や「技能」, 「意識」を検討

まとめ

- 社会の変化が激しく、地域や社会の課題が複雑・多様化する中で、学習課題の把握には、“**幅広い視野と探究心**”が必要です。
- どんな地域で、どんな方が、どんな生活をしているのか。**地域を思い、地域を知る。**地域住民との信頼関係づくり（対話）や心地よいコミュニケーションを進めていきましょう。